

たかはぎ 議会だより



平成25年第3回定例会

会期 9月6日～9月26日

議案に対する質疑	2
委員会審査報告	4
市政に対する一般質問	6
討論・議案等審議結果	12
特別委員会報告	13

まちなかパーティー2013

10月19日(土)駅前大型店跡地
高萩活性化事業委員会主催

2013年11月5日 No.126

議案質疑

議案第48号 高萩市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について

今川敏宏 議員

質問 目的と市のメリットは何か。
総務部長 職員の人材育成の制度の充実が目的で、職員の自己研鑽の選択肢が増え、市政に反映されるものと考えている

議案第53号 中戸川辺地総合整備計画の変更についてから
議案第58号 横川辺地総合整備計画の策定についてまで

今川敏宏 議員

質問 災害時の孤立防止のために防災行政無線を整備する計画だが、災害時は誰が使用するのか。
総務部長 防災行政無線の管理は市で行い、災害時は自主防災組織や避難所の方など、地元住民が使用できるように操作説明を行い地域等で訓練を行えるよう運用マニュアルを作成したいと考えている。



孤立対策用防災行政無線

議案第59号 平成25年度高萩市一般会計補正予算(第3号)

平正三 議員

質問 市報発送経費の269万3000円の補正の理由について伺いたい。

総務部長 業者が変わったことで従来の料金で合意できず、価格の見直しを行うものである。

質問 市報等の配布を常会等配布から新聞折込みに変わったのは、財政健全化計画による経費削減のためである。補正予算の結果、経費面でほとんど同じになった。常会の存在意義、地域の共同の手段として市報など常会、自治会配布にすべきである

提出された議案等

- 報告第10号 専決処分の承認を求めることについて(損害賠償の額の決定及び和解について)
- 報告第11号 専決処分の報告について(損害の額の決定及び和解について)
- 報告第12号 平成24年度高萩市一般会計継続費精算報告書について
- 報告第13号 高萩市健全化判断比率について
- 報告第14号 高萩市資金不足比率について
- 報告第15号 専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)
- 議案第46号 高萩市教育委員会の委員の任命について
- 議案第47号 高萩市公共施設管理計画策定委員会条例の制定について
- 議案第48号 高萩市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について
- 議案第49号 高萩市税外諸収入の滞納金督促手数料及び延滞金徴収条例の一部改正について
- 議案第50号 高萩市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
- 議案第51号 高萩市介護保険条例の一部改正について
- 議案第52号 高萩市火災予防条例の一部改正について
- 議案第53号 中戸川辺地総合整備計画の変更についてから
- 議案第54号 横川辺地総合整備計画の策定について
- 議案第55号 上君田辺地総合整備計画の策定について
- 議案第56号 下君田辺地総合整備計画の策定について
- 議案第57号 若栗辺地総合整備計画の策定について
- 議案第58号 横川辺地総合整備計画の策定について
- 議案第59号 平成25年度高萩市一般会計補正予算(第3号)
- 議案第60号 平成25年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第61号 平成25年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第62号 平成25年度高萩市水道事業会計補正予算(第2号)
- 議案第63号 平成25年度高萩市工業用水道事業会計補正予算(第1号)
- 議案第64号 平成24年度高萩市一般会計歳入歳出決算認定について
- 議案第65号 平成24年度高萩市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第66号 平成24年度高萩市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第67号 平成24年度高萩市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第68号 平成24年度高萩市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第69号 平成24年度高萩市水道事業会計決算認定について
- 議案第70号 平成24年度高萩市工業用水道事業会計決算認定について
- 議案第71号 高萩市水道事業会計利益の処分について
- 議案第72号 高萩市工業水道事業会計利益の処分について
- 【9月26日提出】
- 政治倫理委員会について
- 意見書案第2号 地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について
- 意見書案第3号 教育予算の拡充を求める意見書の提出について

が見解を伺いたい。

市長 市報等の配布は、現行方式でさせていただきたい。

今川敏宏 議員

質問 都市計画道路再検討基礎調査委託料の内容は。

建設経済部長 都市計画道路3・3

・9号線（石滝赤浜線）の南北への延伸について変更が必要となったので、市内の都市計画道路全13路線の再検討を行う。

飯田毅昭 議員

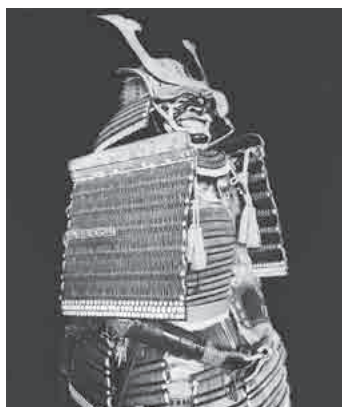
質問 秋山小学校北側校舎改築事業において、予定する校舎の概要、スケジュールを伺う。

教育部長 新築予定の校舎は鉄筋コンクリート2階建て、教室数は6・8を考えるが、詳細については使用する秋山小学校と十分に打ち合わせを行い進める。スケジュールは、来年3月末までに解体し、来年度内の完成を目指す。

質問 松岡小学校校藩校就将館の整備内容を伺う。

市長 市民の郷土愛と誇りを高める取り組みの一環として、高萩ブランドの創出があり、その一つとして歴史の再発見、今回の整備はその一つとして位置づけられると考える。就

将館の整備については松岡城主・中山公の子孫より寄附をいただき基金としており、それを充てている。今回はその基金を用いて、先祖の甲冑を完全復元し、松岡、就将館そして高萩市のシンボルとし、また、「高萩学のすずめ」として学校での学習にも活用していく。



中山公の甲冑

大足光司 議員

質問 秋山中集会所外構改修工事請負費107万5千円について

総務部長 内容は秋山児童クラブが設置されている秋山小学校北校舎の改修に伴い、秋山中集会所を学童クラブとして利用する予定である。秋山中集会所は国道461号に接しており、児童の飛び出し等を懸念する。そのため集会所入り口の門扉設置等工事を実施し、安全向上を図るものである。工事内容は、門扉設置1基、フェンス設置1式、舗装50平米を予定。

質問 高萩スカウトフィールド整備促進補助金150万円について

経営戦略部長 ボーイスカウト日本連盟では、高萩スカウトフィールドを小中学生や指導者の訓練の場として利用する計画である。このため、平成27年度までの3年間で重点的に整備が実施される。本年度は、本格的なキャンプを行うために必要となる井戸等、生活施設の整備を行う。



高萩スカウトフィールド

菊地正芳 議員

質問 地域課題把握実態調査委託料の目的と事業内容について

健康福祉部長 病気や障害を持つ人達が、安心して住みなれた場所ですら生活を送るため、医療、介護、福祉が連携し、地域の実情に

じた包括的なサービスの提供が求められています。その地域の課題を把握するため実態調査をします。

質問 じん芥処理事務経費の増額理由について

市民生活部長 リサイクルセンター長は環境衛生課長が兼務する予定でしたが、管理強化を図るため嘱託職員を配置することとなりました。



リサイクルセンター

質問 し尿処理経費の中で光熱水費の増額理由について

市民生活部長 花貫クリーンセンターにおけるし尿処理の下水道放流に伴う水道使用料です。具体的には3月から希釈水として使用していた井戸ポンプの揚水量が減少し、7月になっても復旧が認められないことから12月までの水道料を補正計上しました。

総務建設経済委員会

◇議案等の審査◇

9月17日、当委員会に付託された報告1件、議案13件、陳情1件の審査と所管事項調査を行った。

○損害賠償の額の決定及び和解について

問 交通事故関係の損害賠償の案件が多いが、どのような対策をしているのか。

答 庁内の各施設に安全運転管理者を配置し、安全運転の教育指導をしている。安全運転競技大会に積極的に職員を参加させるとともに、公用車にドライブレコーダーを設置し、安全意識の向上を図っている。

○高萩市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について

問 職場復帰後の処遇はどうなるのか。

答 同期の職員と同等の給与体系がとれる制度になっている。

○平成25年度高萩市一般会計補正予算(第3号)

問 市報発送等経費補正269万円の契約の方法はどうなるのか。

答 当初予算で270万円計上していたが、業者の変更に伴い委託契約の見直しがあつた。新聞折込み97

00世帯、407万円。ポスティング900世帯、131万円。合計539万円になった。金額の変更があつたため、今年度は月ごとの契約をしているが、来年度からはおおよそ年間540万円での契約になる。

問 公共施設管理計画基本方針策定委託料735万円の具体的な事業内容は。

答 人口的、財政的な制約がある中で、公共施設とインフラを今後どのように管理するのか最善の方針を出すものである。具体的にどこを残すか、統合するか、廃止するか、いつやるか、基本方針を策定する。

問 グリーンタウンてつな粗造成地利活用計画策定委託料311万円の具体的な事業内容は。



答 住宅公社の破産処理により、約13ヘクタールの粗造成地が市の財産になった。地域住民から、良

好な住環境に配慮した整備を求める要望書が出ている。①良好な住環境に配慮した土地利用、②行政課題、住民福祉に沿った土地利用、③財政負担の軽減を図る利活用、の3点を

指針として、具体的な利活用策を抽出、提案するものである。

問 土地鑑定評価委託料1194万円の事業内容は。

答 平成27年度の土地評価替えに備えて、市内全域の土地用途別鑑定ポイント158点の鑑定評価を行い、調査作成をするものである。

問 都市計画道路再検討基礎調査委託料315万円の事業内容は。

答 現在の都市計画道路は、昭和48年に策定されたものである。県の指針では20年以上未着手の路線は見直すべきとしている。国道6号のバイパスとして都市計画道路3・3・9号の計画が進んでいる。早急な都市計画道路の変更が必要になった。その他の都市計画道路も調査の対象とする。

問 防災行政無線整備工事請負費4573万円について、事業内容と設置箇所を伺う。

答 高岡地区の孤立化を防ぐため、辺地総合整備計画を策定し、防災行政無線の更新を行うものである。中戸川公民館、福平集会所、大能生活改善センター、上君田生活改善センター、下君田緑の郷コミュニティセンター、君田小学校、君田中学校、若栗公民館、横川生活改善センターの9か所でデジタル無線機への更新を行い、中戸川地区、君田地区の2

か所に簡易電波中継基地を整備するものである。

問 津波避難誘導灯・サイン整備工事実施設計及び工事請負費1億円について具体的な事業内容を伺う。

答 目的は、津波浸水想定地域内に避難場所や施設までのルートに適切に配置、設置し、効率的な避難をするための誘導をするため、また夜間においても停電時に対応する照明をもつて効率的な誘導をするためである。誘導灯・サインは、最上部にソーラーパネルと照明器具、その下に避難場所までのサインを標示する。設置基数は約80基を予定している。財源は、復興交付金管理基金より8000万円、震災復興特別交付税2000万円を充当する。また、津波避難シミュレーションと津波避難マップの素案を示して、早急にマップを配布できるよう努力する。



避難誘導灯

○サッカー場設置に関する陳情書
本議会において、グリーンタウンてつな粗造成地利活用計画策定の予算が計上されている。計画策定の結果を検討して審査するため、継続審査とする。

文教厚生委員会

◆議案等の審査◆

9月12日の本会議において、当委員会に付託されました案件は、条例関係2件、平成25年度一般会計補正予算（第3号）のうち文教厚生委員会所管分、特別会計補正予算2件であり、慎重に審査した結果、全ての議案が原案どおり可決すべきとの結果でした。

主な質問等は、次のとおりです。

問 地域支援事業はどのような事業なのか。

答 3本柱として、①介護予防事業は、1次予防事業として心身ともに元気なうちから予防する元気アップ運動教室や普及啓発事業。2次予防として介護状態になる一步手前の高齢者に対して行うつまずき予防教室。②包括的支援事業として、高齢者の総合相談事業、権利擁護事業、ケアマネジャー等からの困難ケースによる相談支援、高齢者が安心して生活できるよう、地域のネットワークづくり等の事業。③市町村の任意事業で、家族の介護を支援する事業である。

問 地域課題把握実態調査委託であるが、この事業の具体的な背景と調査は。

答 疾病構造の変化や超高齢化に対応するために地域の医師、歯科医師、看護職員、ケアマネジャー等多職種協働による、地域の特性に応じた在宅医療・介護の支援体制の構築が必要である背景がある。調査の内容は、

医師、訪問看護師、ケアマネジャーに対しては退院支援、日常の療養支援、在宅療養者の急変時の対応、看取りの4点についての連携に対しての意識調査で、患者や家族に対しては在宅医療、在宅療養生活に対する意識調査やサービスの認知度についての内容となる。この調査を実施し、それぞれの立場での課題を抽出し、体制づくりの構築に活用するために実施する。

問 秋山小学校校舎改築について、建物の階数と教室数は。

答 校舎の階数は2階建、6から8教室を予定。児童クラブや、これから、ひとクラスの児童数30人から40人を2クラスに分けて、少人数の身の濃い授業を実施し、成績の向上をも図れるような教育が施されていること等を考えている。その場合、クラスが足りなくならないよう、教育のあり方なども踏まえ、先生方や上司と相談しながら必要数を検討していく。

問 秋山中集会所を使用して一時的に児童クラブを行っていくとのことだが、内容は。

答 児童クラブは現在、秋山小北側校舎の1階、2教室を使用しているが、これから秋山中集会所を一時的に使用していく。新校舎ができれば、児童クラブで2教室を使用できるように整備する予定となっている。



臨時の児童クラブになる秋山中集会所

問 国民体育大会開催推進の内容は。

答 平成31年茨城国体では、ウエイトリフティングが本市の会場となる予定である。市内にウエイトリフティングを行っているスポーツ少年団や選手がいないので、日本ウエイトリフティング協会委員の方が毎月来て指導をいただく予定。練習場所は、市民体育館の2階トレーニング室を考えている。小学生のうちから練習すれば、国体開催時には高校生になり、国体に出られるような選手を育てたいと考えている。

決算特別委員会

◆議案の審査◆

当委員会は、決算に関する議案第59号から議案第72号までを、9月18日と19日の2日間にわたり審査しました。質疑等が行われ、全ての議案について、可決すべきものと決定しました。

平成24年度の決算

(単位：円)

会 計 名		歳 入 (収入)	歳 出 (支出)
一般会計		17,684,016,794	16,599,977,269
特別会計	国民健康保険事業	3,385,537,154	3,349,853,592
	後期高齢者医療事業	269,595,155	268,148,675
	介護保険事業	2,516,885,644	2,472,460,790
	霊園事業	58,868,183	55,475,628
企業	水道事業	1,104,449,308	1,439,044,553
	工業用水道事業	191,771,442	209,571,591



岩倉幹良 議員

高萩工業高等学校跡地の利用について

質問 高萩工業高校跡地に、約1億円をかけてグラウンドを人工芝化する事業が予算化されたが、その目的及び期待される効果として、市民の運動広場として開放し、住民同士の交流や健康増進、さらに技術の向上を図るとしている。整備されたグラウンドは紛れもなく市の公の施設であり、法の規定により「施設の設置及び管理に関する条例」を制定して、市が管理し、市民に開放しなければならないと思うが、条例も制定しないで、どうして市が管理することができるのか。

経営戦略部長 工業高校跡地については明秀学園を誘致するために取得したものであり、将来的には譲渡する考えであります。このようないふから条例を制定するつもりはありません。市民利用については確保してまいります。

市政運営について

質問 市長、副市長、教育長それに庁議メンバー全員と議員9名（議員16名中6名には連絡がなかった）が割烹旅館での会合を、私的なものであったというが、副市長の所感を。

副市長 さまざまな方から意見をいただく、意見交換をするというのは、公的な場面ばかりでなく、当然私的な場面でも、それは非常に大切なことだと思っています。市の幹部が強制されて出席されているようなご発言だったかと思いますが、市民から選ばれた議員の皆さんと意見を交換する、これを強制と思っている幹部職員は一人もいないと思っています。



その他の質問事項
○ごみ処理について



寺岡七郎 議員

市政運営について 人工芝と覚書について

質問 現在財政健全化は道半ばであります。そのような中で明秀学園のために県から4400万円で用地を買い求めそれを格安で貸し付け、なお人工芝までつけて貸付することは到底考えられない。高校のための環境整備は市の固有の事務ではなく、市民の金で行うことは考えられない。人工芝1億円は市民の負担、借金は10年間にわたって7000万円支払う。真相を市民が知ったならば市民は到底理解できないであろうと思う。

経営戦略部長 工業高校跡地は、明秀学園を誘致するために取得したもので、将来的には明秀学園へ譲渡する考え。9月4日の同学園高萩キャンパス明高館の竣工式で小野理事長のご挨拶で人工芝グラウンド完成後に市の地域振興策に貢献したく応分の額を寄附したいとの申し出があった。

質問 明秀学園がどこかの式典で応分の負担をすると挨拶をしたと言っているが、それは覚書や協定書があるわけではなく、応分の負担とは幾らなのかわからない。



工業高校跡地グラウンド

戸別受信機について

質問 防災行政無線の戸別受信機の配備基準は。

総務部長 津波浸水想定区域に住する災害時要援護者と社会福祉法人施設等の人の集まる施設を対象に配備する予定。

質問 受信機は300台だけで借家はダメとなっている。人の命を何ではかっているのか。津波浸水想定区域には2700世帯がある。高校の人工芝には7000万、FM放送には5000万円もつぎ込んでいる。事業の優先度が間違っている。



作山里美 議員

関根前川の美化と

防災について

関根前川の浚渫（川底をきれいに払うこと）と花貫川の美化について

質問 土砂と雑草に覆われ川底が著しく上がってしまった関根前川の水害が心配です。平成5年の川側大水害を思い出されます。「いつまでもあると思うな親と金、ないと思うな運と災難」とことわざにあるようにいつ災害に見舞われるかわかりません。今すぐ浚渫が必要です。また、当市を縦断する関根川・花貫川の二大河川は当市稲作農業の源流であり由緒ある河川です。これの美化に努めることは当市の重点政策であるべきです。

市長 河川の整備につきましては、親水性や動植物の生態系などに配慮した美しい景観の保持に努めます。

建設経済部長 関根前川につきましてはご指摘のとおりですので、早期の浚渫を県へ働きかけます。



関根前川

松岡小・中学校の

通学路について

質問 9月に入りますます日が短くなり、また寒くなり子供たちの体の動きも悪くなります。防災防犯の意識を新たにし、地域ぐるみで子供を事故から守らなければなりません。特に小中学生の通学途上についていかに指導されているか伺います。

教育部長 より安全な通学路を指定し各家庭に家庭調査票を作成していただく等しており、また防犯については小学生には防犯ベルを携帯させ、あるいはこどもを守る110番の家の活用を指導しております。



今川敏宏 議員

復興について

質問 イノシシが増え農作物の被害が絶えません。最近では常磐道や日立いわき線を越え、グリーンタウンてつななど住宅地に入り込んできていて住民の不安が広がっています。市ではどのように状況を把握し対策をとっているのか伺います。

建設経済部長 イノシシ被害は全国的に増加しており、その要因は耕作放棄地の増加や鳥獣生息域の拡大と、狩猟者の高齢化による減少によると考えられています。現在市では有害鳥獣捕獲隊により、銃及びわなによる捕獲を実施し、8月末現在で13頭を捕獲しました。住宅地内の対策としては、捕獲隊によるわなの設置、警察の警らを行っています。

質問 高戸小浜海岸は観光名所であり、市民にとってはふるさとの原風景であり家族連れの憩いの場として親しまれ、市民や高萩出身者の心の中に色あせることのない海岸ですが、被災後ほとんど手が入っていないようです。今後の考えを伺います。



高戸小浜海岸

経営戦略部長 高戸小浜は県管理となっており、高萩工事事務所と協議をしております。

市長 高戸小浜は私たちの原風景です。どんな形でできるか知恵を絞っていききたいと思っています。

その他の質問事項
○行財政改革について
○温暖化対策について



鈴木英樹 議員

学校教育について

質問 ①全国学力テストについて、本県は前回に比較して、全国平均以上となったのは3科目増えて7科目となりました。高萩市も成績アップされたと推測するが、県と比べてどうであったか。

②教科書の採択について、使うべき教科書の採択までの流れを確認したい。

教育部長 ①全国的に、県は前回の調査から見ると底上げされ、高萩市においても県と比較して底上げされた状況です。

②高萩・北茨城・日立・常陸太田の4市より地区教科用図書選定協議会を組織し、選定教科書を採択しています。

質問 ①4年前に比べ学力アップされたことは関係者の皆さん方の御尽力の賜と深く感謝を申し上げます。これまで申し上げています、学力テストの結果公表ですが、文科省あたりでは私のような意見が多く聞かれます。本市において今年はどうなのか。

②教科用図書選定協議会のメンバー構成はどうなのか。また、何



東小学校

百社とある教科書からどのような選定をするのか。

教育長 ①結果公表することによって序列化あるいは過度の競争につながるおそれから一般に公表することを控えています。

②例えば社会の教科書、何社も作っていますが、その中から中身を検討して選択するようになっております。

教育部長 ②教科用図書選定協議会のメンバーは、4市の教育委員長、教育長、それに保護者代表1名を加えた9名です。



菊地正芳 議員

屋外広告物について

質問 シルバーへの委託料やゴミとしての処分にかかる費用が発生しているのに、身元が判明しても除去した物を引き取ってもらうだけで、費用の請求は無い、おかしい話である。当然、そこで費用は請求すべきと思うが、なぜそれをやらないのか。相手がわかった時点で請求すべきでしょう。どのように対応していくのか。またボランティアに対して腕章・プレート等の証明書を発行してはどうか。さらに一般市民は、それが違法物か、そうでないか判断ができない。市民の協力・市民全体で監視するという観点から、見分けられるようシール等で対応してはどうか見解を伺う。

建設経済部長 議員のご指摘を踏まえ違法物の対応について強化を図ります。シール、腕章、プレートについても今後県と協議し対応してまいります。

防災意識の向上について

質問 より多くの市民の方が参加でき、さらに自助の意識も高まる

シェイクアウト訓練とは、訓練会場に参加者を集める方式の防災訓練とは異なり、家庭、職場、学校、勤務先、外出先などさまざまな場所で行うことができ、小さな子供から大人までできる命を守る3つの行動、しゃがむ、隠れる、待つ、を約1分間行い地震の揺れが収まるのを待つという非常にシンプルな訓練であり、今まさにこの瞬間、地震が発生した時、どうやって自分の身を守るかという訓練である。導入について見解を伺う。

総務部長 自助意識の向上と地震防災上、有効と考え導入に向け検討します。





起きた場合、橋本知事は「避難計画を立てるのは大変難しい」と言っているように、実現不可能な避難計画を立てるよりも、廃炉に向けた方向こそ高萩市民の安全を守る保障ではない。



市長 精密検査にかかる費用の助成については、保護者の不安解消を図ることから、今年度から実施したい。経過観察の判定に基づく1年後の再検査については、来年度以降の検討課題にさせていただきたい。

地域防災計画について

質問 東海第2原発の過酷事故が

総務部長 他市町村を参考に調査、研究していきたい。

空き家問題について

質問 高萩市の空き屋状況は、平成20年10月1日調査によると空き家数1740戸、その内、腐朽・破損戸数が690戸である。防火・防犯・生活環境対策として、空き屋条例の制定について伺いたい。



平 正三 議員

いか。

市長 避難路については国の動向をみながらやって行きたい。

子ども医療費

無料化について

質問 今後、子どもの医療費無料化について、具体的にどのような実行しようとしているのか伺いたい。

市長 県内の動向を踏まえ、支給年齢の拡大をしていきたい。具体的計画として次年度から実施していきたい。

子供の

甲状腺検査について

質問 甲状腺検査の結果、経過観察153人、要精密検査8人となっている。今後の新たな受診費用は保護者の負担をなくし公費負担とすべきと考える。

市長 精密検査にかかる費用の助成については、保護者の不安解消を図ることから、今年度から実施したい。経過観察の判定に基づく1年後の再検査については、来年度以降の検討課題にさせていただきたい。

防災行政無線の

利活用について

質問 平成24年7月に運用を開始した高萩市の防災行政無線については、市民の命を守るために情報手段として整備が進められていると私は理解している。三点を質問したい。一点目、防災行政無線の目的。二点目、この防災無線には同報系・移動系・戸別受信機などがあるが、この違いについて伺いたい。三点目、これらの整備状況についても伺いたい。



大森要二 議員

時ばかりではなく、防災も大切、熱中症により命を落とす方もいる。乾燥により大火事の発生も懸念される。そうした注意喚起もできると思うが市の考えを伺いたい。

総務部長 防災行政無線には大きく二つ同報系・移動系がございます。戸別受信機は災害時要援護者等の世帯を対象に設置し屋外スピーカーと同じ情報を発信するものでございます。三点目は、半固定型で通常は固定・移動も可能となり、避難場所となる公民館や集会所、改善センターなど19か所に設置する予定になっております。





我妻康伸 議員

常陸国風土記

勅撰1300年祭について

質問 開催がどのように誇り創出につながったか、開催の成果をどう評価しているかお聞かせください。

市長 多珂の国がかつてあったということを市民の方々が知っていただけではないかなと思っています。それを通じて郷土愛とか誇りを高める一助になったとおもっております。

市長公室長 茨城県を思う多くの方々と連携し、常陸国の魅力を発信できたと考えております。

安心安全な

まちづくりについて



花貫川(菖蒲橋付近)

質問 大雨による河川氾濫対策として、高萩工事事務所とどういうやりとりを行っているかお知らせください。

建設経済部長 県との立ち会いを行い、現況の確認をし、適切な河川管理についての要望を行っております。



市道1450号(秋山中地区)

質問 島名地内の大友製作所からなるまや商店に通じる道路、高萩クリニク付近から県道いわき線に通じる道路の舗装改修をする予定があるのか伺います。

建設経済部長 大友製作所付近からなるまや商店付近につきましては平成26年3月末の水道工事完了後、計画的に修繕してまいります。高萩クリニク入口から県道いわき線までの間につきましても、余震等で少しずつ地盤が沈下していることから、計画的に修繕してまいります。



小宅 誠 議員

放射能と原発について

放射能危機管理対策について

質問 放射能指定廃棄物の最終処分場に選定されてから1年になります。政権交代があり環境副大臣が来庁してのコメントは「選定は仕切り直し、手順を踏みながら進めていくが、高萩市を排除するものではない」との説明でした。その後2回にわたる県内各市町村長会議の中で、環境省は「改めて県内で処理をする考えである」と提示しています。以上のことについて、市長はどのような考察をお持ちですか。

市長 指定廃棄物の処理について、また、最終処分場においても、国の責任で行うものと考えており、これまで答弁してきたとおりです。今後については市町村長会議の場で、しかるべき対応をしていく。

質問 市長は、老朽化した東海第二原発、その原発から30km圏内に位置する高萩市民の生活と命、そして安全で安住をどう対応していくのか。原発を廃炉にすべきか、再稼働を容認するのか。

市長 原子力政策については、国

のエネルギー政策で、国の中で結論を出していくべきと考えている。



東海第二発電所(沸とう水型軽水炉)
1978年11月28日営業運転開始

甲状腺超音波検査について

質問 5月から開始された検診の中で、経過観察・要精密検査の結果が出ました。注目する要件であり次年度も継続的に実施する計画は。また、検査結果の公表、さらに啓蒙活動の展開を。一人でも多くの市民に受診を！

健康福祉部長 市の単独事業で実施は難しい。公表はホームページ等で毎月公表し、市報やたかはぎFM等の広報媒体を利用して、随時受診勧奨を行っていきます。

その他の質問事項

○防災集団移転促進事業について

○小中学校の各教室授業中の暑さ対策について

○市内の防犯灯整備について



田所和雄 議員

中心市街地の活性化について

質問

①高萩市都市計画マスタープランによれば、「空洞化の解消が課題となっている駅周辺市街地については、生活支援、にぎわい、交流、交通結節機能など、中心市街地が有する基本的機能の再生を行う。」としているが、中心市街地の将来ビジョンを伺う。

②常磐線の東京駅乗り入れと高萩駅利用者の増加策について伺う。

③中心市街地のイベント会場と駐車場について伺う。

④都市計画道路3・4・1号安良川下手綱線、3・5・2号高萩停車場線の取り組み状況を伺う。



常陽銀行横の一方通行

市長 本市では「こころの里シテイづくり」を推進しているが、中心市街地は暮らしの里として土地利用を進めていきたい。これから

もにぎわいの創出に向けて必要なる手を打っていく。常磐線の乗り入れについては、期成同盟において要望しているが、JR幹部とのネットワークを使っても要望する。

経営戦略部長 中心市街地でイベント会場として使用できる公共施設は、市民センターと高萩市商工会が運営する高萩やすんでっ亭の2か所です。市民センターの駐車スペースは9台分。やすんでっ亭では春日町児童公園東側のコインパーキングを30分間無料で駐車できる。

建設経済部長 両路線とも高萩市街地において重要な道路だと認識している。高萩停車場線は高萩駅へのアクセスを強化する路線であり、粘り強く交渉を重ね、地権者の理解が得られるよう努力する。



イトーヨーカドー跡地と高萩駅



大足光司 議員

災害時の情報発信について

質問

FMを活用した災害時の情報の整備について

FMを活用した災害時の情報の整備について、どのように行うのか。また、災害時のアナウンス等、そのマニュアルは作成されているのか。災害時、FM局にはどのように行政より指示・指導されるのかを聞く。



防災行政システム

市長公室長 たかはぎFMは東日本大震災の教訓から、情報伝達が不十分であったことの反省とし、多様な情報手段の確保のため整備したものであり、災害時には市民

へ迅速かつ的確に情報を最優先に放送する。

放送する情報をどのようにFM局へ通達するのかについては、対処に時間的余裕がない大規模な災害等は、J-ALERT（全国瞬時警報システム）との連動より、強制的に自動放送されるシステムとなっている。市の災害対策本部が設置された場合は、FM局は本部と隣接しているため、万が一、通信設備が機能しなくても、双方において徒歩での情報入手・伝達が可能である。

非常時の情報収集は、地域防災計画に基づき、災害対策本部の広報班（秘書広報課）と連携し、情報提供を受けて放送する。アナウンスに関するマニュアルについては、異常気象情報や緊急災害時を想定したものを作成しており、FMの職員が不在でも随時、市職員等も対応できるようなFM局内に設置している。



たかはぎFMスタジオ



飯田毅昭 議員

国体について

質問 平成31年開催予定の第74回国民体育大会において、本市での開催予定競技の会場及び関連施設等の現況・改修計画等を伺う。



はぎまる球場

教育部長 国体の競技種目は、軟式野球とウエイトリフティングの開催承認をいただいている。11月に正規視察があり、現在、県関係部署と調整し、視察資料の作成を行っている。課題として、はぎまる球場の改修、ウエイトリフティングは文化会館が主会場となるが、ウォーミングアップ会場と練習会

場の確保が必要。改修計画は、はぎまる球場のスコアボード、グラウンド等の改修・整備の必要性。また、ウエイトリフティングの本会場以外の施設については、県関係部署と調整中である。更には、本市としても県民総参加の機運を高める取り組みも進めていく。

市道の安全対策について

質問 秋山小中学区、島名地区の市道と市街地大和町地内の各交差点の安全対策について伺う。

建設経済部長 市道217号線、だるまや商店先から旧昭和興産付近の市道については、路肩にグリインベルト及び学童注意の路面標識等の設置が考えられ、現場の状況を調査しながら安全対策を実施したい。また、大和町地内の対策については、交差点を強調した路面標示や交差点内のカラー舗装等が考えられ、一旦停止を無視する交差点については、警察に取り締まりの強化を要望する。



島名地内市道217号線



議案第64号 平成24年度高萩市一般会計歳入歳出決算認定について

反対討論

平 正三 議員

反対討論を述べる。

一つは、平成24年度から実施された施設使用料の改正問題である。

原価に建設費を含めて使用料の算出を行えば、市民に二重の負担を求めるものであり、負担の公平性からも施設使用料の算出方法として適切ではなく、すみやかに改めるべきである。

二つは、市報等の新聞折込みによる配布問題である。

財政健全化により、常会長手当を平成20年度に廃止したため、平成22年度から新聞折込みに変更することになった。その結果、常会の崩壊現象が起きる大きな要因になった。

平成25年度9月補正予算の結果、常会配布と比較し129万3千円も高くなり、財政健全化計画の効果が全く失われた。

東日本大震災の教訓として、地域住民同士が力を合わせて助け合う組

織として、常会組織の必要性が改めて認識された。
現在の市報等の新聞折込みによる配布は再検討すべきと考える。

議案等審議結果

報告第10号、議案第46号から議案第72号まで、政治倫理委員会について、意見書案第2号、意見書案第3号について採決の結果、議案第64号、議案第65号、議案第66号については賛成多数により、その他については全員賛成により承認、可決または決議されました。

請願・陳情の審議結果

教育予算の拡充を求める請願	採 択
サッカー場設置に関する陳情書	継 続 審 査

震災復興等対策特別委員会

新庁舎建設を調査検討

新庁舎建設について、市長から本庁舎再建基本計画（案）が示されましたので、委員会として提言書をまとめ9月20日付で市長に提出しました。以下提言内容です。

記

- 1 建設費は極力抑えること
- 2 ランニングコストを低減する設計にすること
- 3 機能的デザインを重視すること
- 4 機能面及び使い方など、他施設と重複しないようにすること
- 5 プランニングは提案型で行うこと
- 6 本来の行政業務を最優先し、超効率化を目指すこと
- 7 各種相談での来庁者のプライバシーを考慮すること
- 8 新庁舎建設審査会を設置すること



新庁舎建設予定地（旧庁舎跡地）

新庁舎建設の今後のスケジュール

平成25年度内	設計者決定から基本設計
26年度内	実施設計
27年から	建設工事開始
28年度末	竣工予定

議会改革等調査特別委員会

委員会審査をネット配信 ・コミュニティFM放送で実施

議会改革の一環として、すでに市民に開かれた議会として、本会議のネット配信・コミュニティFM放送を行っています。9月定例会から委員会審査のネット配信・コミュニティFM放送を実施しています。

ネット配信は、ユーストリーム社のインターネットストリーミングサービス（無料）を利用しています。

ネット配信を行う委員会は常任委員会及び特別委員会（議会だより編集特別委員会を除く）の会議となっております。ライブ配信は会議の開始から終了まで、録画配信は会議の終了から90日間配信します。

コミュニティFM放送は、総務建設経済委員会、文教厚生委員会の各常任委員会の審査状況を



パソコンに表示された委員会の様子。
高萩市議会ホームページの
「委員会映像配信 (USTREAM)」をクリックしてください。

会議開始から終了まで放送します。

多くの市民の皆さんの視聴をお願いします。

現在、議会改革等調査特別委員会は、さらなる議会改革を進めるために、議会の憲法と言われる議会基本条例制定を目標に議論を進めています。

市民の声

春日町 鈴木 健司さん

私は仕事の都合で議会を傍聴することが出来なかったのですが、最近FMラジオやインターネットで放送されるようになり、仕事の合間でも議会の様子を見聞きできるようになったことは、とても良いことだと思います。

最近では、携帯電話やパソコン等も各年層に普及され、暮らしの中でも必要な情報が誰でも簡単に得られるシステムツールが活用されるようになりました。

そのように、いつでも何処でもリアルタイムで、市の様子や、議会の様子、または、議員活動の情報等、議員の皆様もこれらの情報システムを積極的に活用されてはいかがでしょうか。情報環境を整えれば、もっと市民に分かりやすくなるかと思えます。また、それらを市民が見聞することにより、もっと新しい発想もうまれ、市民の声も市政・行政に広く繋がるようになるかと思えます。

市民は、各議員の活動や考えが分からないこともあり、様々な情報手段を活用して、広く聞かせてほしいと思います。

また、議会の中での発言や質問で、議員各々の考えはあるとは思いますが、市民の代表者であるのですから「まちのために、地域のために、そして市民のために」を考えて行動していただきたいと思います。

本町 クリストファー・ゴードিশュさん

私は、7年前に子供達に英語を教えるためALTとして、高萩にアメリカから来日しました。当時は、日本語もあまり話せなくて困っていましたが、高萩のみなさんが言葉や文化等を教えて下さり、優しく親切にしてくれました。

2年前の震災でアメリカに帰ろうかと思いましたが、子供達や親切にしてくれた方々、そして大好きになった高萩のために何かをしたい。そのような気持ちが高まり、現在は高萩に大切な家族と住所を得て、地域の方々とボランティア活動等も行いながら暮らしています。

私の生まれたアメリカ、メリーランド州ボルチモアは、港や歴史的な観光スポットがある古いまちです。またスポーツも盛んです。ここに住んでいる人々は、誰もがスポーツやエンターテインメント、文化を愛し、自分たちの誇りとして言葉にします。

授業の時に「高萩は好きですか?」と子供達に聞いてみると、好きという言葉があまり聞けません。私は「なぜ?」と思います。産業、観光、歴史文化、そして優しさがあるまちであるのに・・・。

その言葉は、大人からも聞くときもあります。

皆さんが生まれ育ったまちが心から愛せるまちとして、5年、10年先の未来を描き、明るく、誇りに思う高萩となるように、私もこのまちで頑張りたいです。

議会のホームページ
をご覧ください

高萩市議会

検索

○議会本会議・委員会をインターネットで生中継します。また、録画を見ることができます。

[たかはぎFM(76.8MHz)でも本会議と常任委員会の放送をしています]

○会議録の閲覧・検索ができます。平成21年からの会議録が対象となります。第3回定例会の会議録は、11月下旬に閲覧可能となります。

傍聴においでください

第4回定例会(12月)予定

- 12月6日(金) 本会議 議案上程
- 9日(月) 本会議 一般質問
- 10日(火) 本会議 一般質問
- 12日(木) 本会議 議案質疑
- 13日(金) 文教厚生委員会
- 16日(月) 総務建設経済委員会
- 17日(火) 震災復興等対策特別委員会
- 18日(水) 議会改革等調査特別委員会
- 20日(金) 本会議 採決

※日程等が変更になることがあります。詳しいことは、議会事務局までお問い合わせください。

議会だより
編集特別委員会

委員長 今川 敏宏
副委員長 田所 和雄
委員 大所 光司
岩倉 幹良
小田 誠
飯田 毅
我妻 伸

多くの皆様に、議会を「見て・聞いて・読んで」と、分かりやすいように、FMラジオ、パソコンや携帯電話でもインターネットに接続し、市議会ホームページより議会の実況が見られるように、随所に工夫を凝らしています。広報媒体としては、今、皆様にお読みいただいております「市議会だより」があります。私も「だより」の委員として、市内各世帯に配布されるという責任を重く受け止め、どうすれば議会が活動している姿を正確に、分かりやすく伝えられるだろうかということを考え、委員会のメンバーと力を合わせ、試行錯誤し今後も、市民の皆様のニーズに沿った「市議会だより」の制作を行います。

(大足光司 記)